

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110044	X-31-A-1-110044						
授業科目	担当教員						
心理学／心理と行動	佐々木 宏之	2	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

授業目的

基礎心理学の諸問題を概観し、意外なまでに知らない自分自身の心の振る舞いと、つい自分の常識で測ってしまうと見誤る他者の心の振る舞いについて理解する。各テーマにおいて、簡単な実験やデモンストレーションをふまえることで、心理学の基礎について理解を深める。

【ディプロマポリシーとの関連】健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること。

各回の授業内容

第1回 【授】 心理学とは	心理学にはどんな分野があるかを概観し、現代の心理学の基本的な考え方について理解する。 【前・後】事前学習(2時間)：心理学に対する印象について考えてくる。事後学習(2時間)：授業後に心理学に対する印象は変化したかについて考える。	第9回 【授】 対人社会心理学—自己知覚・他者認知	自分以外の他者の心の存在があるとき、自分自身について、他者についてどのような認識が生じるのか学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：周囲の人達の存在・不在によって自分がどのように変わらか考える。事後学習(2時間)：他者の存在が自分にとってポジティブなものになるような考え方の工夫を検討する。
第2回 【授】 感覚・知覚	外界の情報をどのように心に取り入れているのか。視覚の働きを中心に学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：これまで体験したことのある錯覚を考える。事後学習(2時間)：体験したことのある錯覚が生じる仕組みを考える。	第10回 【授】 対人社会心理学—印象形成と印象操作	他者の印象がどのようなメカニズムで形成されるか、そして自分が他者に対して印象を良くするためにどのようなことをするのか理解する。 【前・後】事前学習(2時間)：他者の印象をどのような観点で決めているのか考察する。事後学習(2時間)：就職活動で自分の印象を良くする工夫について考える。
第3回 【授】 顔の認知	視覚認知の中でもっとも高度の情報処理を行っている顔の認識に見られる諸特性を学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：顔からはどのような情報が得られるか考える。事後学習(30分)：授業で知った顔の特徴について友人の顔を見ながら検討する。	第11回 【授】 集団社会心理学—同調・服従・内面化	他者の存在がどのような行動の変容を引き起こすか集団心理を理解する。 【前・後】事前学習(2時間)：集団の前で、集団の中で自分がどのように変わるか考える。事後学習(2時間)：グループ行動のパフォーマンスを高める方法について検討する。
第4回 【授】 注意と意識	感覚・知覚・認知のように、外界から心に入り込む情報に対して心はどのように対処するのか、注意・意識の働きについて学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：意識とは何か、意識を持つ存在には何があるか考えてくる。事後学習(2時間)：意識をコントロールすることについて考察する。	第12回 【授】 性格—性格の理解	心理学ではパーソナリティという個人差をどのように捉えてきたのか学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：自分がどのような性格なのか考える。事後学習(2時間)：授業で紹介された以外に、パーソナリティを捉える観点を考える。
第5回 【授】 記憶	記憶の機能と、それらを実証するための実験手法について学ぶとともに、様々な記憶の性質について理解する。 【前・後】事前学習(2時間)：自分自身を振り返り、最も古い記憶内容を想い出してくる。事後学習(2時間)：エピソード記憶・意味記憶・手続き的記憶の例を考える。	第13回 【授】 性格—性格の測定	パーソナリティの測定方法を学び、実践する。 【前・後】事前学習(2時間)：パーソナリティを測定することの難しさを考える。事後学習(2時間)：授業内で実践できなかったパーソナリティテストを実施する。
第6回 【授】 学習	学習とは、行動が経験により比較的永続的に変容することと定義される。この授業では、学習の一般原理、運動技能の学習、学習法について学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：2つの図を観察し何が見えるかを考える。事後学習(2時間)：人間の目とカメラの構造を比較し、共通点と相違点について考察する。	第14回 【授】 知能—知能の理論	心理学では知能という個人差をどのように捉えてきたのか、歴史的背景と知能に関する最近の研究動向を学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：頭がいいとはどういうことなのか考える。事後学習(2時間)：授業で紹介された知能を高める工夫を実体験する。
第7回 【授】 欲求・動機づけ	私たちを行動に駆り立てる心のしくみについて理解する。そして、反対にやる気を失うとはどのようなことのか理解する。 【前・後】事前学習(2時間)：自分にとってやる気が起こるのはどのようなときなのか考える。事後学習(2時間)：授業をふまえて自分のやる気を起こさせる工夫を考える。	第15回 【授】 知能—知能の測定	知能の測定を学び、実践する。 【前・後】事前学習(2時間)：これまで経験したことのある知能の測定を考える。事後学習(2時間)：IQの計算を復習する。
第8回 【授】 感情	基本感情と感情の発達過程、感情の測定方法について学ぶ。 【前・後】事前学習(2時間)：基本感情にはどのようなものがあるか考える。事後学習(30分)：授業内容を踏まえて日常生活で自分がどのような感情を体験しているか考える。	第16回 【授】 定期試験	
成績評価方法			
【成績評価】自己学習によるレポート課題(20%)と定期試験(80%)により、総合的に評価する。			
【課題に対するフィードバックの方法】模範的なレポートを授業で公表し、解説をおこなう。			
教科書・参考書			
特に教科書は指定せず、必要な資料は授業中に配布する。			
受講に当たっての留意事項			
特になし。			
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施	
×			×
学習到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 心理学に関する基礎的な知識を身につけること。 日常の行動を心理学の視点から分析すること。 			
JABEE			

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習